

知っ得情報

8月6日は
埼玉県知事選挙の投票日です

期日前投票についてお知らせします

- 期日前投票は、住所にかかわらず、「期日前投票宣誓書」をお書きになれば、どの期日前投票所でも投票ができます。なお、期日前投票所により受付期間と受付時間が異なっていますのでご注意ください。
- 投票所入場整理券をご持参ください（届いていない場合や、紛失したときは係員にお申し出ください）。なお、入場整理券の裏面が期日前投票宣誓書になっておりますのでご利用ください。
- 駅前行政センターにお車でお越しのかたは、川口駅東口地下公共駐車場（15分100円）等をご利用ください（川口駅東口地下公共駐車場のみ30分無料券を配布いたしますので、駐車券を係員にご提示ください）。

①川口市役所 第一本庁舎

受付時間／午前8時30分から午後8時まで、期間／7月21日（金）から8月5日（土）まで

②川口駅前行政センター

受付時間／午前10時から午後8時まで、期間／7月21日（金）から8月5日（土）まで

③鳩ヶ谷庁舎

受付時間／午前10時から午後8時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

④芝支所

受付時間／午前10時から午後5時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

⑤神根支所

受付時間／午前10時から午後5時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

⑥新郷支所

受付時間／午前10時から午後5時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

⑦安行公民館

受付時間／午前10時から午後5時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

⑧戸塚公民館

受付時間／午前10時から午後5時まで、期間／7月30日（日）から8月5日（土）まで

新川口

2023年7月23日 No.1708

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528

<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまとこ

川口社会保障推進協議会が川口市と懇談
社保協キャラバンで
社会保障の充実を願って市に要望

埼玉県社保協が毎年度取り組んでいる自治体キャラバンが今年も行われ、川口社保協と川口市の懇談は7月13日に青木会館を会場に行われました。

川口社保協では独自に市への要望項目を大きく5分野についてまとめ提出し、川口市からも懇談の前に文書で回答があったため、それに基づいて、さらに医療や介護現場にかかわる皆さんの声や高齢者や子どもたちのくらしの実態を市に届け、社会保障の充実に取り組んでほしいと訴えました。

介護分野では来年度予定される介護保険料の改定に向け引下げの要望や、ヤングケアラー支援についてケアマネージャーにも情報提供や共有を求めました。国民健康保険では、国保税が高く減免制度が必要であることは市も認めますが、県主体の



運営方針の中で今以上の独自の減免制度の実施は難しい状況であるとの回答でした。

こども分野では学校給食の無償化に向け、国の動向もあるが、川口市として安全で安心な学校給食と負担軽減に向けた取り組みを行うこと、また18歳までの医療費無償化が県内でも拡大する中で川口市でも拡充を望む声が出されています。

障害者分野では、川口市内へ肢体不自由児の特別支援学校の設置に向けた県との協議の状況について、また短期入所施設で安心して生活するための専門性の確保、新たな暮らしの場となる入所施設についても検討してほしいとの声が出されました。

生活保護の分野では、独居高齢者の住まいの確保のための市営住宅の整備や無料低額宿泊所での支援の内容などの意見が出されています。

市民のくらしや、福祉の現場の声を市に届け、その生の声から市政を動かしていくことが大切です。日本共産党市議団も懇談に参加し、これからもみなさんの声を聞いて市政に届けていきます。



埼玉県立 川口特別支援学校 を視察

県立川口特別支援学校は今年開校49年目を迎える歴史ある学校です。知的障害の小中学校として多くの児童生徒が生活していますが、近年は老朽化や生徒数の増加が著しく、施設の課題も顕著になっています。埼玉県や川口市の議会でもたびたび課題として挙げられています。こうした実態について7月14日に日本共産党市議団で学校を訪問し、校内での授業の様子や施設、また学校からの帰宅時の送迎の様子を校長のお話を伺いながら視察してきました。

2023年度の在籍数は335人となっており、もともと200人程度の受け入れを想定した校舎のため、現在は2クラスが1つの教室を共同で使用していました。特にここ数年は小学部の児童が急増しています。新入学の1年生は47人と多く、児童生徒数の見込みでは2年後には400人近い見込となっており、全国的にも大きな特別支援学校になります。子ども6人に教員2人の配置で、一人ひとりの子どもたちに合わせて丁寧に対応していますが、一方で教室の過密は大きな課題となっており、今後、敷地内に新しい校舎を建設予定です。建設工事中の課題や、教室の確保などこどもと教職員が安全に過ごすことが出来る環境を整えることは喫緊の課題となっています。

下校時は子どもたちが放課後デイサービスに行く様子も見学しましたが、敷地内に送迎バスと共に放課後デイの送迎車が30～40台並び、間違いなく子どもたちを送り届けるために工夫されている様子でした。今後も、現場に学びながら、子どもたちの発達と特性に沿った教育が進められるよう状況を改善するよう頑張ります。



住民説明と住民の意見・要望が反映される 川口地区高規格堤防整備を

令和4年10月29日に 関東整備局荒川下流河川事務所が開催した高規格堤防（通称スーパー堤防）整備事業の説明会に続き、令和5年5月13日に南中学校体育館で説明会が実施されたことを受け、7月14日に日本共産党市議団は矢野ゆき子元市議と共に市の河川課から説明を受け意見交換を行いました。

説明会では、旧墓地区域のカロート撤去工事の実施や飛鳥工区端部の擁壁構造の見直しについて、工事の概要や工程などが説明されました。現在、河川敷にアクセスする道路が工事により使用できなくなるため迂回路の設置を行います。また、掘削した土砂は河川敷道路を通行して運搬します。地盤改良工事に伴い、

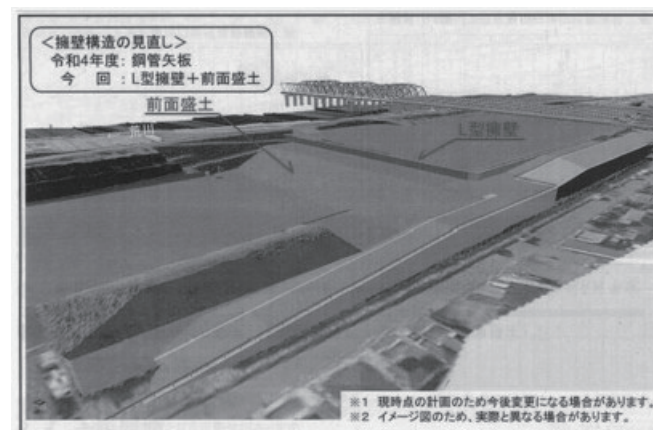


▲現況写真と完成イメージ

「いずれも川口地区高規格堤防整備工事説明会（荒川下流河川事務所）の資料より」

地盤改良機のスペースを確保するため、川口市道8号線の片側交互通行規制が行われます。工事に伴う家屋調査は、連絡が取れず未実施の方があることも説明がされました。

荒川飛鳥工区の高規格堤防の建設にあたっては、都度、地域住民への



▲飛鳥工区等工事完成イメージ

の丁寧な説明を求めるとともに、市としても当該自治体として進捗状況等、住民生活に支障が起きないように事業を把握すること。また、荒川橋梁付近のかさ上げ工事については、綿密な実態調査を行い堤防の質的強化が行われるよう国に対して働きかけることが求められています。